

公益信託「川嶋章司記念スカラーシップ基金」
2016年度（平成28年度）奨学助成金募集要項

本基金は、人類社会の発展と調和を目指す人文・社会・自然諸科学の分野で勉学と研究に励む外国人留学生に対して奨学金の支給を行い、国際間の相互理解と交流の促進を目的として、設立されたものである。

2016年度（平成28年度）助成事業として、下記要領により助成希望者を募集する。

1. 対象者（応募資格）

- (1) 我が国の大学および大学院の正規課程に在籍する外国からの留学生で、特に学業人物ともに優れ、かつ留学生生活を続けていくために経済的な援助を必要とする者。

専攻分野は、人文・社会・自然諸科学とする。

*学部学生：2016年4月に学部3、4年次に在籍する者（見込み）

*大学院生：2016年4月に修士課程または博士課程に在籍する者（見込み）

- (2) 他の奨学金との併給者は、その月額が5万円以下の者。

- (3) 前年度（2015年度）当基金新規採用の奨学生の内、上記の応募資格を有し、2016年度（平成28年度）も継続して奨学助成金の受給を希望する者。

2. 奨学助成金額および支給時期

- (1) 1人あたりの奨学助成金は年120万円（月10万円）とする。

- (2) 原則として、4月および10月（年2回）の各月に、年間奨学助成金の1/2を支給する。

3. 支給期間

原則2年 [2016年（平成28年）4月～2018年（平成30年）3月までの就学期間を対象とする。]

但し、2年目継続希望者は、次年度申請時に再度奨学金申請書等所定の書類を提出していただき継続の審査が必要です。

4. 採用人数

7名程度（新規採用）

5. 申込期限

2015年12月15日（火）まで（必着）

6. 申込方法

各大学等内で学内選考のうえ、1名（継続者を除く）を選定し、大学等事務局を通じて当基金に提出する。

7. 応募方法

当基金奨学助成金の受給希望者は、当基金所定の申請用紙(申請書・履歴書・身上書・推薦書)に以下の書類を添え、在籍大学等の事務局に提出する。

- (1) 在学証明書
- (2) 成績証明書(現課程のものが入手できない場合は、前課程のもの)
- (3) 健康診断書(証明書)
- (4) 外国人登録証明書(写)または在留カード(写)
- (5) (別紙1)(1)留学の目的と活動状況
- (6) (別紙2)(2)現在の研究・勉学のテーマ(発表論文等資料の添付可)
- (7) (別紙3)(3)将来の進路(卒業後の進路と留学の関係等について)

*継続申請の方は申請用紙に上記(2)、(3)、(6)、(7)の書類を添付して下さい。

*ご提出いただいた申請書、及び添付した資料は当基金奨学生を選考のために、運営委員会で用いられます。なお、ご提出いただいた応募書類は返却いたしませんのでご了承下さい。

8. 奨学金助成者の決定および結果通知

- (1) 当基金運営委員会が審査選考を行い、奨学金助成者を決定する。
- (2) 可否については、原則として3月末までに当基金事務局から大学を通じて通知する。

9. その他

奨学金助成者に決定した奨学生は、奨学助成金贈呈式に出席していただきます。

10. 申請書類の送付先および問合せ先

〈公益信託 川嶋章司記念スカラーシップ基金事務局〉

郵便番号：100-8212

東京都千代田区丸の内1-4-5

三菱UFJ信託銀行リテール受託業務部 公益信託課 担当 友永

TEL 0120-622-372 (フリーダイヤル：受付時間 平日9:00~17:00)

FAX 03-6214-6253

メールアドレス：koueki_post@tr.mufg.jp (件名には基金名を必ずご記入下さい)

以上

申請書類記入上の注意

全般的事項について

- (1) 原則として日本語（楷書）で記入すること。
- (2) アルファベット使用の場合は活字体で記入すること。
- (3) 数字は算用数字を用いること。
- (4) 該当する欄はすべて記入すること。
- (5) 記入は万年筆またはボールペン（原則黒）で書くこと。

「奨学金申請書」について

- (1) 大学名称欄は、大学名を記入し、学部の場合は学部名、学科名を記入する。
大学院の場合は該当する課程名を○で囲む。
申請時現在と、2016年4月での在籍大学・学年を記入する。博士課程で前記・後期のある場合は、記入する。
- (2) 「留学目的と活動状況」「将来の進路」の欄は、添付の別途用紙に記入すること。
継続申請者は、(2)と(3)を提出する。

「履歴書」について

- (1) 学歴については卒業した学校名を記入すること（複数の場合はすべて記入）
- (2) 大学院については、自分の属する課程を○印で囲むこと。
- (3) 職歴については本国および日本における職歴を記入すること。

「身上書」について

- (1) 家族姓名欄には、父母の他、配偶者、子供、兄弟姉妹について記入すること。
- (2) 職業・勤務先欄は、具体的に記入する。できれば役職等も記入すること。
父母死亡の場合は、「死亡」と記入し、生前の職業・勤務先を記入すること。
在学中のものは学校名を記入すること。

「推薦書」について

- (1) 推薦者は原則指導教員。

以上

